



ブリリア ショートショート シアター11月プログラム:Shortshorts16のご案内

映画『ノーウェアボーイ ひとりぼっちのあいつ』の女流監督サム・テイラー・ウッズの ショートフィルムを上映！村上春樹原作の『パン屋再襲撃』も！

横浜・みなとみらいのショートフィルム(短編映画)専門映画館、ブリリア ショートショート シアター(運営:株式会社ビジュアルボイス本社:東京都渋谷区、代表取締役 別所哲也)11月プログラムをご案内致します。

ジョン・レノンの青春時代を描いた映画『ノーウェアボーイ ひとりぼっちのあいつ』(配給:ギャガ、11月5日公開)の監督で、写真家としても有名な女流監督サム・テイラー＝ウッズ。ブリリアショートショートシアターでは11月1日より、そのサム・テイラー＝ウッズが制作したショートフィルム、『ラブ・ユー・モア』を上映致します。作品タイトルは、イギリスのパンク・ロックバンドBUZZCOKSの曲『ラブ・ユー・モア』から。1978年夏のロンドンを舞台とし、冴えない高校生ピーターと、ピーターが恋するクラスメートのジョージアがBUZZCOKSのレコードをきっかけに接近していく青春物語。BUZZCOKSのボーカリスト、ピート・シェリーもレコード店の客としてカメオ出演しています。また同作品は2009年のショートショートフィルムフェスティバル&アジアのグランプリ、また同年のサンダンス映画祭でも審査員特別賞を受賞している作品。

もうひとつの目玉作品は村上春樹原作の『パン屋再襲撃』。

監督は映画、『ルドandクルシ』『天国の口、終わりの楽園』のカルロス・キュアロン。出演者も豪華、『スパイダーマン』シリーズのキルスティン・ダンスト、2009年のアカデミー賞でも記憶に新しい『ハート・ロッカー』のブライアン・ジェラティが主演をつとめています。

※他2作品の全4作品から11月プログラム:Shortshorts16は編成されております。



『ラブ・ユー・モア』



『パン屋再襲撃』

上映情報:Shortshorts 16 (全4作品)

- 上映期間 11月1日(月)～11月29日(月) ※上映時間はホームページをご参照ください
※火曜日休館日 21:10～の回は金・土のみ上映
- 劇場 ブリリア ショートショート シアター (HP: <http://www.Brillia-SST.jp/>)
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい5丁目3番1 Filmee 2F
- チケット 大人・学生 ¥1000 / 小人(3歳～中学生) ¥800
シニア(60歳以上) ¥800 / ハンディキャップ (付き添いの方1名まで同額) ¥800
- チケット販売 2010年10月18日(月) 午前0時より前売り販売開始
- 購入方法 シアター窓口、シアターWEB、携帯電話
※WEB、携帯電話からの購入は、上映の2時間前までとなります。

『ラブ・ユー・モア』参考資料



□サム・テイラー＝ウッド

1967年生まれ。写真家としても名高く芸術性の高い作品で知られ、アーティストとしてペットショップボーイズやエルトン・ジョンとのコラボも果たす。また1997年、ターナー賞にノミネートされ、現代美術の国際美術展覧会であるヴェネチア・ビエンナーレで最も有望な若手作家に与えられる賞を受賞している。

□バズコックス(Buzzcocks)

イギリス・マンチェスター出身のパンク・ロックバンド。マンチェスター音楽シーンの草分け的存在。1976年、ロンドンでセックス・ピストルズのライブに感銘を受けたビート・シェリーとHoward・ディボートによって結成。当時はパンク・ロックシーンが全く栄えていなかった地元・マンチェスターに自らピストルズを招聘する事を計画し、自らが前座を務める。観客は少なかったが、その中には後にジョイ・ディビジョンを結成するバーナード・サムナーとピーター・フックや、ザ・スミスのモリッシーなど、後の音楽界を牽引する面々が含まれており、このライブはマンチェスターの音楽シーンを活性化させる契機となった。この経緯はパンクの標語であるDIY(Do It Yourself)精神の体現として後進のバンドからリスペクトを受けている。バンドは1981年に一度解散するが、1989年に再結成され、現在も活動を続けている。

『パン屋再襲撃』参考資料



□カルロス・キュアロン

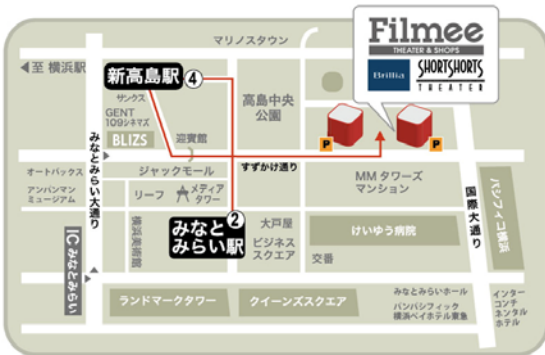
メキシコ生まれ。メキシコ国立大学で英文学を学ぶ。兄のアルフォンソ・キュアロンの初監督作『最も危険な愛し方』で初めて長編脚本を手がけ、メキシコ・アカデミー賞最優秀脚本賞を受賞。2001年の『天国の口、終わりの楽園。』は、ヴェネチア国際映画祭銀獅子賞(最優秀脚本賞)を受賞、また米国、英国のアカデミー賞最優秀脚本賞にノミネートされ国内外のヒット作となった。またカルロスは、これまでに8作品のショートフィルムの脚本・監督を手がけた熟練のショートフィルム作家でもある。2009年にはガエル・ガルシア・ベルナルとディエゴ・ルナ主演の『ルドandクルシ』で長編監督デビュー。

ブリリア ショートショート シアター

当シアターは日本初の映画祭と連動したショートフィルム専門の映画館として2008年に横浜みなとみらいに誕生。1プログラムは60分、4～6本の短編作品で構成されています。通常のプログラムでは世界中から選りすぐりのショートフィルムを集めており、米国アカデミー賞公認短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル&アジア」で上映されたコンテンツも上映。国際映像文化事業としても注目を集めるショートフィルムの活性化、世界にも通じる高いレベルの映像作品をみなさまと共有したいという考えのもと、若手クリエイターへの支援も含め、横浜みなとみらいからショートフィルムの魅力を発信しています。



シアターへのアクセス



ブリリア ショートショート シアター

〒220-0012
横浜市西区みなとみらい5丁目3番1 Filmee 2F
TEL: 045-633-2151
URL: www.Brillia-SST.jp/

アクセス:
みなとみらい線
「新高島駅」徒歩5分
「みなとみらい駅」徒歩6分

シアター名掲載の際のガイドライン

シアター名表記の場合、下記ガイドラインに沿ってご掲載いただきますようお願いいたします。

●カタカナ表記

ブリリア ショートショート シアター
半角 半角

●英語表記1

Brillia SHORT SHORTS THEATER
半角 半角 半角

●英語表記2

Brillia Short Shorts Theater
半角 半角 半角

日英どちらも使用可能

■ 取材・画像・映像素材提供・各種お問い合わせ先 ■

株式会社ビジュアルボイス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-12-8 SSUビル4F
【オフィス】TEL: 03-5474-8844 FAX: 03-5474-8202 【シアター】TEL: 045-633-2151 FAX: 045-633-2156
担当: 菊地・高橋